

群馬工業高等専門学校	開講年度	令和02年度(2020年度)	授業科目	英語
科目基礎情報				
科目番号	5J004	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 4	
開設学科	電子情報工学科	対象学年	5	
開設期	通年	週時間数	2	
教科書/教材	英語モードが身に着くライティング			
担当教員	伊藤 文彦			
到達目標				
教科書及びhandoutの英文法を理解することができる。 教科書及びhandoutの内容を理解することができる。 英文を執筆することができる。				
ルーブリック				
grammar	理想的な到達レベルの目安 基本的な英文法をよく理解している	標準的な到達レベルの目安 基本的な英文法をある程度理解している	未到達レベルの目安 基本的な英文法を理解していない	
reading	文書の内容をよく理解している	文書の内容をある程度理解している	文書の内容を理解していない	
writing	英文法に基づいた英文を執筆することができる	英文法に基づいた英文をある程度執筆することができる	英文法に基づいた英文を執筆することができない	
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	本授業は主に英作文執筆力を養成する授業である。編入学試験に備えている学生が多いため、それに向けた学習なども行う予定である(必要に応じてhandoutsを配布)。			
授業の進め方・方法	4.5.6.7月は編入試対策を中心に、残りの月はessayを中心に授業を進める。			
注意点	英語力が伸びるか否かは、教員の情熱・テキストの良さ・学生の主体性で決まる。まず学生は主体性を持って学習してほしい。英和・和英辞典を持参すること(スマートホン不可)。授業進度によっては英文を執筆する訓練も行う。High English proficiency will be yours by virtue of daily continuous practice. 授業時間60時間に加えて、自学自習時間120時間が授業の前後に必要となります。具体的な学修内容は毎回の授業における予習と復習である。			
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業の概要、授業の進め方と授業方法の説明、warm-up presentation (or essay), Sec 10	本科目の理解
		2週	第1週homeworkの発表(or 提出), Voc size test, Vi vs Vt, Sec 10	sentence pattern, 1 paragraph essay (50 words), part of speech
		3週	編入試対策	comprehend reading material
		4週	編入試対策	comprehend reading material
		5週	編入試対策	comprehend reading material
		6週	編入試対策, return essay w/ writing symbols	comprehend reading material, rewrite essays
		7週	sec 10	simple sentence
		8週	sec 10	simple sentence
後期	2ndQ	9週	sec 11	compound sentence
		10週	sec 11	compound sentence
		11週	sec 11	compound sentence
		12週	sec 12	complex sentence
		13週	sec 13	complex sentence
		14週	preparation for the exam	1 paragraph essay (80 words)
		15週	final exam	review, 80 word essay
		16週	return the exam	review
後期	3rdQ	1週	handouts	comprehend reading material
		2週	注意すべき表現	are many, are fewなど
		3週	注意すべき表現	so --- that
		4週	注意すべき表現	現在完了形
		5週	注意すべき表現	その他
		6週	handouts	comprehend reading material
		7週	preparation for the exam	review
		8週	2nd half mid-term exam	review
後期	4thQ	9週	映画及び感想文	how to write an academic essay
		10週	映画及び感想文	how to write an academic essay
		11週	映画及び感想文	how to write an academic essay
		12週	submit essay	1 paragraph essay (80 words)
		13週	return essay	rewrite essays
		14週	English Fun Activity, preparation for the exam	映画や歌などを紹介、review
		15週	2nd half final exam	1 paragraph essay (80 words)
		16週	return the test	review

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞き取ることができる。	3
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話を毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3
工学基礎		グローバリゼーション・異文化多文化理解	グローバリゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	3
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。	3
				他者の意見を聞き合意形成ができる。	3
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	3
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	3
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3

			情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	3	
			情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	3	
			目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	3	
			あるべき姿と現状との差異(課題)を認識するための情報収集ができる。	3	
			複数の情報を整理・構造化できる。	3	
			特性要因図、樹形図、ロジックツリーなど課題発見・現状分析のために効果的な図や表を用いることができる。	3	
			課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	3	
			グループワーク、ワークショップ等による課題解決への論理的・合理的な思考方法としてブレインストーミングやKJ法、PCM法等の発想法、計画立案手法など任意の方法を用いることができる。	3	
			どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	3	
			適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	3	
			事実をもとに論理や考察を展開できる。	3	
			結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	3	

評価割合

	定期試験	課題など	合計
総合評価割合	80	20	100
前期	40	10	50
後期	40	10	50